



てんしゆかく しやうてんしゆかく  
**天守閣と小天守閣**

てんしゆかく がいかん じゆう ち か かい そうとうがた  
 天守閣は外観5重、地下1階の層塔型  
 てんしゆ しやうてんしゆかく がいかん じゆう ち か  
 天守です。小天守閣は外観2重、地下1  
 かいのつくりで、ちかい てんしゆかく ちかい はし  
 階のつくりで、地階は天守閣の地階と橋  
 だい いしがき つうろ むす  
 台という石垣の通路で結ばれています。



すみやくら  
**3つの隅櫓**

ほんまる どうなんすみやくら せいなんすみやくら お  
 本丸には東南隅櫓と西南隅櫓、御  
 ふけまる せいほくすみやくら すみやくら  
 深井丸には西北隅櫓の3つの隅櫓が  
 げんざい こ せいほくすみやくら きよ  
 現在も残っています。西北隅櫓は「清  
 すやくら い じやうない  
 須櫓」とも言われ、城内でただ1つの  
 じゆう かい  
 3重3階のつくりになっています。  
 どうなんすみやくら せいなんすみやくら そと  
 東南隅櫓と西南隅櫓は、外から2  
 じゆう み ないぶ かい じゆう  
 重に見えますが、内部は3階で、2重3  
 かい  
 階のつくりになっています。



せいほくすみやくら じゆうようぶん かい  
 西北隅櫓 (重要文化財)



どうなんすみやくら じゆうようぶん かい  
 東南隅櫓 (重要文化財)



せいなんすみやくら じゆうようぶん かい  
 西南隅櫓 (重要文化財)

じやうもん いちのもん にのもん  
**城門 (一之門と二之門)**

じやうない ほんまるおとてにのもん きゆうにの  
 城内には、本丸表二之門と旧二之  
 まるひがしにのもん にのまるおとてにのもん  
 丸東二之門、二之丸大手二之門の3  
 じやうもん げんざい こ  
 つの城門が現在も残っています。  
 じやうもん もん いちのもん にのもん  
 城門は、2つの門(一之門と二之門)  
 ますがた てき しんにゆう ふせ  
 で「柵形」をつくり、敵の侵入を防ぐく  
 みになっていました。また、ほんまるおとてに  
 のもん さゆう どべい てつぽうざま  
 二之門の左右の土塀には「鉄砲狭間」  
 もう いちのもん かたちやくら  
 が設けられています。一之門の形を櫓  
 もん にのもん かたち こうらいもん い  
 門、二之門の形を高麗門と言います。



ほんまるおとてにのもん じゆうようぶん かい  
 本丸表二之門 (重要文化財)



じゆうにのまるひがしにのもん じゆうようぶん かい  
 旧二之丸東二之門 (重要文化財)



にのまるおとてにのもん じゆうようぶん かい  
 二之丸大手二之門 (重要文化財)

てんかぶしん いしがき  
**天下普請の石垣**

なごやじやう いしがきこうじ てんかぶしん  
 名古屋城の石垣工事は天下普請と  
 さいごく ほっこく だいまよう け  
 して、西国・北国の大名20家によって  
 おこな だいしやうてんしゆだい いしがき  
 行われました。大小守台の石垣は、  
 かとうきよまさ きさず てんしゆ  
 加藤清正によって築られました。天守  
 だい いしがき ゆみ のようにそり、いし おも  
 台の石垣は弓のようにそり、石の重み  
 つち あつりよく ぶんさん  
 や土の圧力がたくみに分散されていま  
 す。ゆがみにくく、しかも美しい形になっ  
 ています。また、いしがきこうじ つか  
 石垣の石には、ほか だいまよう ほこ  
 石垣の石には、他の大名が運んできた  
 いし くべつ なまえ きこう  
 石と区別するために、名前や記号など  
 めじろし きざ  
 の目印が刻まれています。

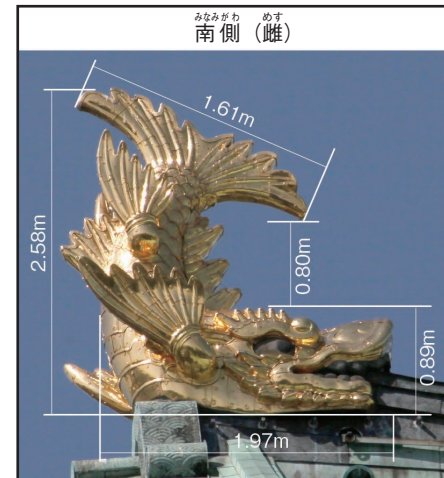


てんしゆだい いしがき  
 天守台石垣

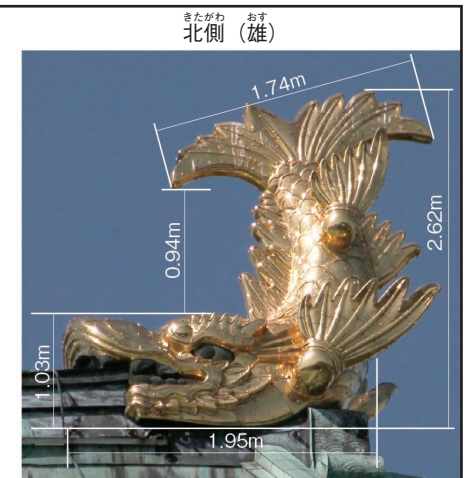
しよだい だいて きんしゃ  
**初代と2代目の金鯨**

なごやじやう てんしゆ やね たてもの  
 名古屋城の天守の屋根には、建物  
 かさい まも れいじゆう きんしゃ の  
 を火災から守る霊獣として、金鯨が載っ  
 ていました。しよだい きんしゃ しやう  
 初代の金鯨に使用された  
 きん じゆん ど きん こばん  
 金は、純度80パーセントの金、小判に

して1万7975両に相当するものでした。  
 ごきんしゃち なんど いなお  
 その後金鯨のうろこは何度も錆直され、  
 ねんしやうわ がつ くうしゆう てんしゆ  
 1945年(昭和20)5月の空襲で、天守  
 とともにや お 落ちてしまいました。げんざい  
 現在  
 きんしゃち ねんしやうわ  
 の金鯨は、1959年(昭和34)につくら  
 だいて きんしゃち  
 れた2代目の金鯨です。



みなみかわ めす  
 南側 (雌)



きたがわ おす  
 北側 (雄)

だいて きんしゃち  
 2代目の金鯨